

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		公衆衛生学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員		谷口かおり	実務経験とその関連資格	島根大学医学部 環境保健医学講座環境予防医学に勤務			
《授業科目における学習内容》 公衆衛生学の概念、方法の基礎を学ぶ。一次予防、二次予防及び三次予防の考え方にに基づき、環境諸要因が個人・集団の健康あるいは社会生活に及ぼす影響について理解を深める。疾病の予防や健康増進へのアプローチの方法等に関する知識を習得する。公衆衛生のさまざまな実践活動を学び、人々の健康を守るための組織、機関及び医療従事者の役割や機能への理解を深める。							
《成績評価の方法と基準》 出席、課題提出、筆記試験で総合的に評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生							
《授業外における学習方法》 事前に指定テキストを読んでおく。							
《履修に当たっての留意点》 授業中に口頭試問等行う。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	公衆衛生の歴史や特性について学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資料	授業の復習と次の講義のための予習	
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の特性				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	疫学の手法を学び、集団の健康状態とらえる指標を理解することができる。		テキスト、配布資料	授業の復習と次の講義のための予習	
		各コマにおける授業予定	疫学と保健統計				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身の回りの環境問題とその対策、健康への影響について理解する		テキスト、配布資料	授業の復習と次の講義のための予習	
		各コマにおける授業予定	環境と健康				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の歴史と現在を通して、感染症予防体制における行政の役割を理解し、地域・医療者の感染症対策が説明できるようになる。		テキスト、配布資料	授業の復習と次の講義のための予習	
		各コマにおける授業予定	感染症とその予防対策				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象に応じた公衆衛生の実践が理解できる。		テキスト、配布資料	地域における公衆衛生の実践についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	地域における公衆衛生の実践①総論				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象に応じた公衆衛生の実践が理解できる。	テキスト、配布資料	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	地域における公衆衛生の実践②各論		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象に応じた公衆衛生の実践が理解できる。	テキスト、配布資料	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	地域における公衆衛生の実践③各論		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康格差と生命倫理についてまとめることができる。	テキスト、配布資料	授業の復習と次の講義のための予習
		各コマにおける授業予定	社会と健康		